

山笑う春。若々しき春の気配が満ちてきました。三年生の皆さん、卒業おめでとう。本校を代表して、心から祝福の意を表します。私は赴任して初めての日に申し上げたように皆さんの前でお話しする時間をとっても大切な時間として意識してきました。直接皆さんに私の意思を伝える絶好の機会だからです。そして今日のこの時間が最後の時間になりました。どんな話をすればみなさんのところに届くか思い悩みました。そんなことを考えながら本校の図書室を歩いていると一冊の本を見つけました。「君の臍臓をたべたい」という住野よるさんの本です。映画化されましたので知っている人も多いと思います。クラスでも人気の高い高校2年生の女子生徒が不治の病に侵されている。そのことをクラスメートは知らない。あまり目立たず、友人のいない男子生徒が病院で偶然そのことを知り、二人は自分の持っていないものを相手にみつけ、か

けがえのないパートナーとなる。最後は意外な結末が待っており映画と原作では違うのですがざっと紹介するとそんなストーリーです。その中にとっても印象的な場面があります。偶然病院で出会ったと主張する男子生徒に対して、女子生徒は違うと言います。そのまま彼女の言葉を引用しますと「偶然ではない。私たちは皆、自分で選んでここに来たの。君と私がクラスに一緒だったのも、あの日病院にいたのも、偶然じゃない。運命なんかでもない。君がまさにしてきた選択と、私がしてきた選択が私たちを会わせたの。私たちは自分の意志で出会ったんだよ」という言葉でした。まさにその通りです。みなさんは中学時代にこの千里高校を選択し、みんなと出会いました。そしてまた次のステージも皆さんの選択で決まります。重要な選択から単純な選択まで人生は選択の連続です。重要な選択の時は立ち止まって、必死で考えてくださ

い。千里高校の三年間、すなわち授業、千里フ  
ェスタ、海外研修旅行、部活動などあらゆる教  
育活動で皆さんは立ち止まって思考する訓練を  
重ねてきました。思考する種は十分皆さんの心  
に蒔かれています。次のステージではその種か  
ら芽が出、花を咲かせ、実らせてください。勇  
気をもって自分が選択した道を進んでください。  
ただし自分の決断した選択には責任が伴います。  
正しい選択ができる知識と教養を次のステージ  
ではさらに磨いてください。そして国際社会へ  
と羽ばたいてください。まさに本校のキャッチ  
フレーズ「千里から世界へ。未来への航海」で  
す。

次に保護者の皆様方、お子様のご卒業、誠にお  
めでとうございます。本日は皆様方にとって  
も子育てからの一応の卒業です。長い間本当に  
お疲れ様でした。お子様のこの三年間は、変化  
と成長が最も激しい時期であり、保護者の皆様

の御労苦も並々ならぬものがあつたことと拝察いたします。本日の三年生の姿は皆様のご努力の賜物です。こんなに立派な人間になりました。みなさまの子育てはまさに百点満点です。

最後になりましたが今日の佳き日、大阪府教育委員会若林博行様をはじめ多数の御来賓の皆様のご御臨席を賜り、かくも盛大に卒業式を挙行できますことを、卒業生はもとより、在校生、職員一同、心より御礼申し上げます。今後も卒業生たちのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時です。皆さんの未来は皆さん自身が創ります。充実した幸せな人生を送って下さい。最後は千里高校らしく英語で。

*May all your dreams come true.*

平成三二年二月二八日

大阪立千里高等学校 校長 天野 誠